第7課　三位一体の神様(1)2018.2.18(主日)

◎ 賛美(一同) : 韓日1番、韓日36番

◎ 信仰告白(一同) : 使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : マタイの福音書28章18∼20節

◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 一番最後に

◎ 今日のマナ

私達が信じる神様が、どのようなお方なのかを知ることはまことに重要です。なぜならば、神様についての正しい理解は、私たちの信仰により深みをもたらすからです。三位一体で存在される神様を知っていくことによって、私たちは神様により近く進み行くことが出来ます。

**1. 三位一体信仰**

三位一体は、他の宗教では見ることのできないキリスト教だけの固有の信仰です。三位一体ということばは、聖書に明確に登場してはいませんが、聖書の中の多くの内容を照らし合わせ、また初代教会の時から今まで引き継がれてきた聖徒たちの信仰経験を照らし合わせて見るとき、神様ははっきりと三位一体として存在なされます。何よりも神様は創世の前から三位一体で存在されました。

三位一体を人間の理性によって証明することは出来ません。しかし私達キリスト者は、人間の理性を超越して存在される三位一体の神様を信じます。

だとしたら、三位一体の意味は何でしょうか。三位一体とは御父、御子、御霊の三つの位格が区別されながらも、本質的には同一のおひとりの神様であるという信仰です。これは実際、理解するには難しい概念です。なぜならば、両親と子供、また双子が、とても似ていることはあろうとも、決して本質的に同一であることは出来ないからです。全ての個別の存在は、他の存在とは共有することの出来ない固有の特徴を持っています。しかし、御父、御子、御霊の三位の神様は、それぞれ完全に区別される個別の存在でありながら、本質的に完全に同一であられるのです。言い換えれば、三位一体は‘完全に三でありながら完全に一’という、人間の理性と経験では理解することが出来ない神秘な存在様式なのです。

**2. それぞれ区別される三位神様**

御父、御子、御霊の位格は本質的に同一ですが、それぞれ固有に存在され、区別された働きを行われます。

一番目に、第一位御父神様は、この世を創造され治められ、救いの働きを主管されるお方です。旧約では、イスラエルを選ばれ選民とされた神様であられ(出 3:15、イザヤ 63:16)、新約ではイエスを主と告白する全てのキリスト者の父となられます(ローマ 8:15)。

二番目に、第二位御子イエス様は神様のひとり子であられ(ヨハネ 3:16)、聖霊によって宿りこの地に肉体を着てこられ (ルカ 1:35)、全人類を救われたキリストであられます(マタイ1:21)。イエス様はこの地で救いの働きを完成され、神様の御座の右の座につかれ、世を裁かれるために再び来られます(使徒1：11)。

三番目に、三位御霊神様は、人格体として知識、感情、意思を持っておられます(ローマ 8:27、Ⅰコリント 2:10、12:11)。聖霊様は私達の内に内住され聖殿とされ (Ⅰコリント 3:16)、私たちに霊感を与え、神様の御心を悟らせてくださいます(Ⅰコリント2:12∼13)。また聖霊様は、教会を建て、拡張され(使徒 20:28)、聖徒たちにイエス様のご性質を与えられ(ガラテヤ 5:22∼23)、全てに能力を増し加えられます(Ⅰコリント12:4∼11)。

御父、御子、御霊は、私たちが信じて礼拝するべき神様です。しかし三位の位格を第一位御父、第二位御子、第三位御霊と区分するからといって、その権能や栄光に差があるというのではありません。三位神様は全て本質的に同一に尊いお方です。

**3. 三位神様の統一性**

御父、御子、聖霊の三つの位格はそれぞれ固有に存在され区別されるお働きを行われますが、それと同時に本質上、一つの存在であられます。

御父、御子、御霊の三位神様はお互いに依存しながら存在されます。言い換えれば、御父は御子と聖霊と、そして御子は御父と聖霊と、聖霊は御父と御子と関係を持ちながら存在されるのです。

御父、御子、御霊の三位神様はお働きにおいて、連合されます。三位一体神様の全ての働きは、御父の働きに御子と聖霊が参加され、御子の働きに御父、聖霊が参加され、聖霊の働きに御父と御子が参加されることによって成されるのです。

結論的に、三位神様は完全に個別的に存在されると同時に、完全に相互依存しながら存在なされ、働かれます。これを三位一体神様の‘共在’と言います。

また、三位神様は愛の中で一つであられます。第一ヨハネ4章を見ると、御父神様は愛であられ(Ⅰヨハネ4:8)、御子イエス様は神様の愛を見せて下さり(Ⅰヨハネ 4:9)、聖霊神様を通して、私たちが神様のうちに、神様が私たちのうちにおられると語っています(Ⅰヨハネ4:13)。このように三位神様は、愛という真理の中で結束しておられます。

最後に、三位一体信仰を通して何を悟ることが出来るのかを見てみましょう。私達は三位神様がお互いに依存し、助け、愛し、存在しているように、私たちも同じくお互い頼り、助け、愛し生きていかなくてはいけません。私たち一人一人は個別的にも尊く有能な存在ですが、隣人と共にするとき、その価値がより輝くことができ、この世を力強く生きていくことが出来ます。隣人が存在するゆえに私がおり、隣人と共にするときに、全てのことが順調になされていきます。何よりも私たちは隣人を愛さなくてはいけません。‘私と隣人が一つになる心構え’。三位一体神様の信仰がもたらすまことの教訓です。

◎ マナの要約

<三位一体信仰>

1. 神様は三位一体で存在されます。

2. 人間の理性では三位一体を証明することは出来ませんが、私たちは三位一体を信じます。

3. 三位一体とは御父、御子、御霊の三つの位格はそれぞれ区別されながらも本質的に同一な一人の神様であるという信仰です。

<それぞれ区別される三位神様 >

1. 御父、御子、御霊はそれぞれ固有に存在し、区別された働きをなされます。

2. 御父、御子、御霊はすべて私たちが信じ礼拝するべき神様です。

3. 御父、御子、御霊は、その権能や栄光に差等はなく、同一に尊いお方です。

<三位神様の統一性>

1. 御父、御子、御霊なる神様は相互依存しつつ存在し、相互依存しつつ働かれます。

2. 御父、御子、御霊なる神様は、愛の中で一つとなられます。

3. 三位神様にならって、わたしたちもまた互いに頼り、助け、愛して生きなくてはいけません。

◎ 私の人生のマナ<隣の人と挨拶>

1. 神様は三位一体で存在されます。

2. 三位一体なる神様を賛美しましょう。

3. 互いに助け愛して生きましょう。

<祈り>

1. 聖書の中で三位一体なる神様の恵みを悟るようにして下さいと祈りましょう。

2. 互いに依存し共に働かれながら存在される三位一体なる神様にならって、私たちも隣人と心を一つにして共に働くようにしてくださいと祈りましょう。

3. 愛の中で一つとなられた三位一体なる神様にならって、私たちも隣人を愛するようにして下さいと祈りましょう。

<とりなしの祈り>隣の人と祈りの課題を分かち合い、共に祈りましょう。